

アリムタ(ペトレキセド)療法(悪性胸膜中皮腫)

外科: 管理番号 D429

処方医

3週を1コースとし投与をくりかえす

適応: 悪性胸膜中皮腫

							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
パンピタン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
アリムタ							●																					●
メチコバル	●																											
デカドロン							●	●																				

身長: _____ cm 体重: _____ kg 体表面積 _____ m²

アリムタ投与日1週間前 投与スケジュール ()クール

薬剤名	投与量	
パンピタン(内服)	1g	1×朝食後 アリムタ最終投与日から22日目まで連日経口投与
メチコバル注	2管	筋注 アリムタ最終投与日から22日目まで3クール毎に筋肉内投与

DAY 1(月 日)

薬剤名	投与量	
生食100mL	1袋	30分
デキサー	6.6mg	
生食100mL	1瓶	10分
アリムタ 500mg/m ²		(炎症)
生食20mL	1管	静注

DAY 2(月 日)

DAY 3(月 日)

薬剤名	投与量	
デカドロン錠	8mg	2×朝食後、昼食後

[適性使用基準・投与開始基準]

[DLF]骨髄抑制

アリムタ 腎障害時用量調節

1. 重篤な腎障害がない		
2. 多量の胸水又は腹水が認められない(体腔液を排出すること)		
3. 重篤な骨髄抑制がない		
4. PS:0~2		
血液一般検査	Neut (/μL)	2000以上
	PLT (/μL)	10万以上
	HGB (g/dL)	9.0以上
	TBIL (mg/dL)	1.95以下
	GOT (IU/L)	82.5以下
	GPT (IU/L)	105以下
	血清アルブミン	2.5以上
	Cr (mg/dL)	1.2以下
Ccr (mL/min)	45以上	
動脈血酸素飽和度(SPO2)	92%以上	

[次コース開始基準]

4. PS:0~2		
血液一般検査	Neut (/μL)	2000以上
	PLT (/μL)	10万以上
	HGB (g/dL)	9.0以上
	TBIL (mg/dL)	1.95以下
	GOT (IU/L)	82.5以下
	GPT (IU/L)	105以下
	Cr (mg/dL)	1.2以下
	Ccr (mL/min)	45以上

[重大な副作用]

- ・骨髄抑制
- ・間質性肺炎
- ・重度の下痢
- ・脱水
- ・腎不全

Grade3以上の副作用が認められた場合は、第1コース開始前のGradeまで回復していること

[減量基準]

血液毒性	Grade4の白血球数減少(1000未満)または好中球数減少(500未満) 25000未満の血小板数減少または血小板輸血を実施した場合 38度以上の発熱を伴うGrade3(1000未満)以上の好中球数減少	400mg/m ²
非血液毒性	Grade3以上	
投与延期	Grade3の悪心、嘔吐、疲労、食欲不振 GOT・GPT上昇については減量不要の場合あり	
投与延期	本剤により発現した副作用により、次コースの開始が前コースの	

第30日以降に延期された場合